



たすきは途切れず

教育長 津野庄一郎

楽しみにしていました「第 50 回村民駅伝競走大会（主催：関川村教育委員会）」は、例年以上にクマの出現が多数あり、選手並びに関係者の安全確保を最優先に、臨時代表者会を経て来年に延期することといたしました。大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

半世紀の長きにわたり続いてきた本大会は、コロナ禍で 3 年間開催を断念しました。一昨年度ようやく再開され、あらためて村民の健康増進に寄与するだけでなく、世代を超えた交流の場として、また地域の絆を深める大切な機会としての意義を認識しただけに、とても残念でなりません。9 月以降、練習や準備に取り組んできた関係者の努力を思うとなおさらです。

現在、新潟県は「クマ出没警戒警報」から警戒段階を引き上げ、「県内クマ出没特別警報」（11 月 30 日まで）を発表し、県民にクマへの最大級の警戒と命を守る行動をとるよう呼び掛けています。また、専門家によればクマの個体数が増加し、今年は餌となる木の実が不作で、村民の生活圏にまで行動範囲が広がっており、人身被害への未然防止が急務とのこと。村では農林課を中心に関係機関と連携し、連日クマの捕獲に務めております。

小学生から 60 歳以上の選手が一本の^{たすき}襷に思いを込め、それぞれの区間を懸命に走る姿は、村民に勇気と希望を与えてきました。変わりゆく時代の中でも、本大会が築き上げてきた歴史と伝統は、関川村にとって大きな宝物です。これまでの大会のあゆみを「広報せきかわ（※）」から抜粋して「文化祭」（11 月 1 日～3 日：村民会館アリーナ）で紹介いたしますので、ぜひご覧ください。

結びに、第 50 回村民駅伝競走大会の次年度の開催と、皆様のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げます。

※「広報せきかわ」の発行は昭和 50（1975）年より。そのため第 1 回・第 2 回大会<昭和 48（1973）年・昭和 49（1974）年>は、記録のみの紹介です。

<【写真】残雪の光兎山>